

# ナウマン通信



2021年  
10月15日発行  
第21号

大阪市立我孫子南中学校

## 時間を忘れるくらいニコッと楽しもう！

「時間を忘れるくらいニコッと楽しもう！」のスローガンのもと、10月11日（月）より3年生修学旅行を2泊3日で実施しました。出発式の時に代表生徒より「修学旅行に行けることに感謝して」との言葉があったように今年の修学旅行も昨年と同様にコロナ禍の緊張感をもってのスタートとなりました。初日の最初の活動は満蒙開拓平和記念館での平和学習でした。満州に駐留していた日本の陸軍部隊「関東軍」による満州事変を経て、日本の戦況が悪化しソ連軍が侵攻。結果として多くの開拓団の方々がなくなりました。その歴史を学び、改めて平和の大切さを学習しました。その後、天竜川でのラフティングを行いました。ほとんどの生徒が初めての経験ということもあり、最初は少し不安そうでしたが、スタートした時から歓声が上がリ、存分に楽しんでいました。終わったときにはそれぞれ、時間を忘れてニコッと皆が笑顔でした。



2日目は立山黒部アルペンルートでの班別自主研修でした。天候が不安定で、雨が降ったりガスがかかったりと、壮大な自然の景色は時々しか見れませんでした。ケーブルカーやトロリーバスなど普段乗ることない乗り物で移動することができました。そして何より黒部ダムへの放水を見ることができたのはいい思い出になったと思います。この日は放水が見られる日でした。毎秒10トン以上の水量を吹き出すダイナミックな観光放水が身近で見ることができました。

標高2450M（富士山の5合目と同等）の室堂はさすがに寒さが厳しかったです。そんな大自然と向き合いながらの活動となりました。しかし、ここで失敗が。班での行動ができない人が出てきたのです。それを受け夜に予定していた全体レクの前に班別に反省をいたしました。数人の勝手な行動、わがままな行動がどれほど周りに迷惑をかけることになるかを真剣に話し合いました。翌日の高山市内の散策を成功させるために一人一人が決意をしたことと思います。そして、気分を切り変えて全体レクに。レク係の生徒が中心になって盛り上げてくれました。クイズやクラス対抗のゲームなど、楽しいひと時を過ごすことができました。

3日目はお楽しみの高松市内での班別自主研修を行いました。高松の古い街並みを散策しながら高山ラーメン、みたらし団子、飛騨牛握り、などの名物を堪能している様子は本当に楽しそうでした。高山陣屋を見学し、ミッションにも挑戦しながら集合場所の別院に誰一人遅れることなく集合し、班活動を完ペきにやり切りました。前日の失敗を3年生は成功に変えることができました。修学旅行に出発するとき、校長先生は3年生に3つの話をしました。1つは無事に行き帰ってくる。2つ目は修学旅行とは何かを考えて行動する。3つ目は全員がニコッと笑える修学旅行にする。ということでした。1つ目と3つ目はできました。2つ目ができなかったことで2日目の失敗がありました。解散式で取り返せる失敗はしてもいいと言いました。失敗から学び、成功に変えていく、それを学べた修学旅行になったのではないのでしょうか。

